

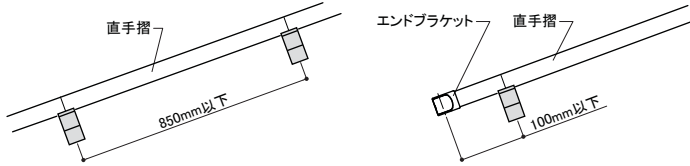
## 施工条件

完成した手摺が十分な強度をもつように必ず次の条件を守って下さい。

### (1) 壁下地について

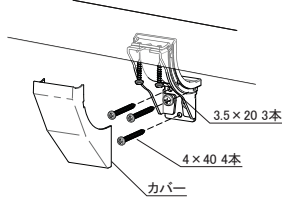
ブラケットを固定する下地は、12mm以上の合板貼など丈夫なものとして下さい。石膏ボードや薄い合板の下地では、ネジが十分に効かないので脱落するおそれがあり危険です。

### (2) 手摺を支えるブラケットの間隔は850mm以下として下さい。

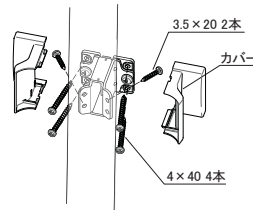


### (4) 「ブラケットと壁」「ブラケットと手摺」は同梱のネジで止め忘れのないように確実に固定して下さい。

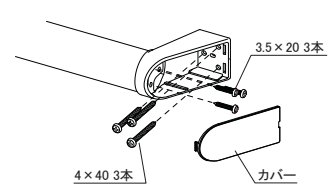
#### 1. 壁受ブラケットと壁及び手摺



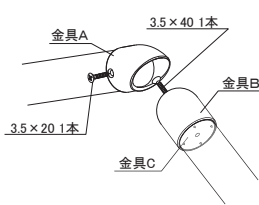
#### 2. 直ブラケットと笠木(壁)及び手摺



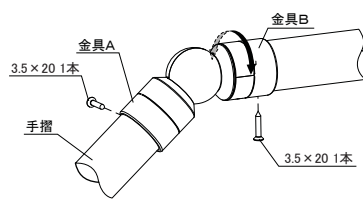
#### 3. エンドブラケットと壁及び手摺



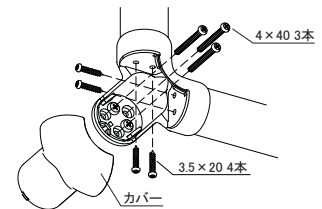
#### 4. フリーコーナーと手摺



#### 5. フリーコーナーと手摺



#### 6. L型エルボと手摺

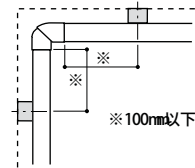


ご注意

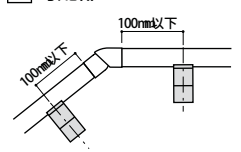
手摺は、ブラケットを用いて850mm以下の間隔で固定してください。手摺や取付け金具に無理がかかり、破損するおそれがあります。

### (3) フリーコーナーを取付ける場合。

#### A 入隅部



#### B 勾配部



## 着脱方法

### 1 手摺の壁への取付けは従来と同じです。



### 2 クロス貼りの前に手摺をはずします。



ベースプレートのみ壁面に残ります。

### 3 クロス貼りは簡単です。



ベースプレートは小さく小さいのでクロスのカットは簡単です。

### 4 手摺をもと通りに取付けます。



### 着脱方法 ドライバー1本で簡単にできます。

#### ●着脱ブラケット壁受 HF35-WM



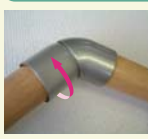
固定ビスを2本ドライバーではずします。ビスをはずしてもベースプレートからブラケットは落ちない構造になっています。

#### ●着脱フリーコーナー MF35-FC



固定ねじをドライバーではずし、リテーナーを取り外します。

#### ●着脱フリーコーナー US35-FC



凸部を回転させるとジョイント部の間隔が広がり着脱ができます。

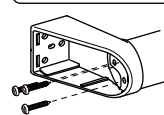


手摺を取り外します。

(固定ねじだけで手摺を外せない場合は手摺固定ねじも外して下さい。)

#### ●エンドブラケット MS35-DHE

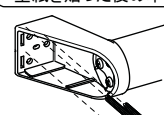
##### 壁紙を貼る前の仮固定



手すりを差し込んで3.5 x 20にて固定してください。



##### 壁紙を貼った後の本固定



4.0 x 40にてブラケットを固定しカバーを取り付けてください。

